

第34回 **非正規ではたらくなかまの 全国交流集会in滋賀** 参加費無料

わたしが働く 価値って何だろう

「非正規」であること
を理由にした正規との格差。仕事の内容や責任は同じなのにこの格差はなぜ？
私が働く価値って何だろう。
全国のなかまと「対話と学び
あい」で格差の背景を考えよう。

和田静香さん
(わだしずか)

ライター。リーマンショック後に仕事が激減。アルバイト生活になる。コロナ禍にバイトをすべて失い、一念発起して小川淳也衆議院議員に面談取材を申し込み、自分の暮らしから発した言葉で簡答を重ね、「時給はいつも最低賃金。これって私のせいですか？国会議員に聞いてみた。」を2021年に出版。政治分野では異例のヒットとなり、以降社会や政治関連の本を出している。最新刊は「中高年シングル女性」。

6/2026 全体会 (13:00~17:00)
*バレード17:30~
ピアザ淡海
〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1丁目1-20

オープニング 近江兄弟社高校演劇部
記念講演 テーマ 「わたしが働く価値って何だろう
—非正規労働者のリアルな実態—」
講師 和田静香さん(ライター)

大学生の女性や働く若い女性などの20歳代前半ぐらいの女性を対象としたファッション雑誌。この4誌が代表格。

「モテ」がキーワード

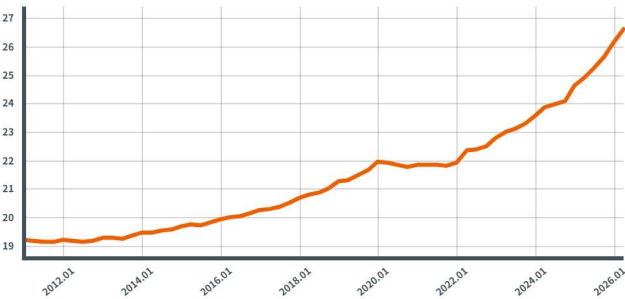


コンサバで。。。

「かわいい」が
だいじなテーマ

東京都の賃貸マンション賃料

賃料(万円)



直近3年間の賃料推移

東京都の標準的な物件の賃料は直近の3年間で15.21%程度上昇しています。

この3年間の賃料上昇率を内訳で見ると、初年度が3.35%、2年目が4.52%、3年目が7.34%となっています。

生活費の中で住居費が大きな割合を占める

③住居費支払い後の家計

住居費支払い後の家計	度数	%
余裕がある	238	12.7%
どちらかというと余裕がある	452	24.1%
あまり余裕がない	737	39.3%
まったく余裕がない	438	23.3%
無回答	12	0.6%
合計	1877	100.0%

家賃負担なし、および無回答の人除く1877人

住居費支払い後の家計	度数	%
どちらかというと余裕・余裕がある	690	36.8%
あまり・まったく余裕がない	1175	62.6%
無回答	12	0.6%
合計	1877	100.0%

どの年代も住居費を支払った後の家計に余裕がない

クロス集計 住居費支払い後の家計と年齢

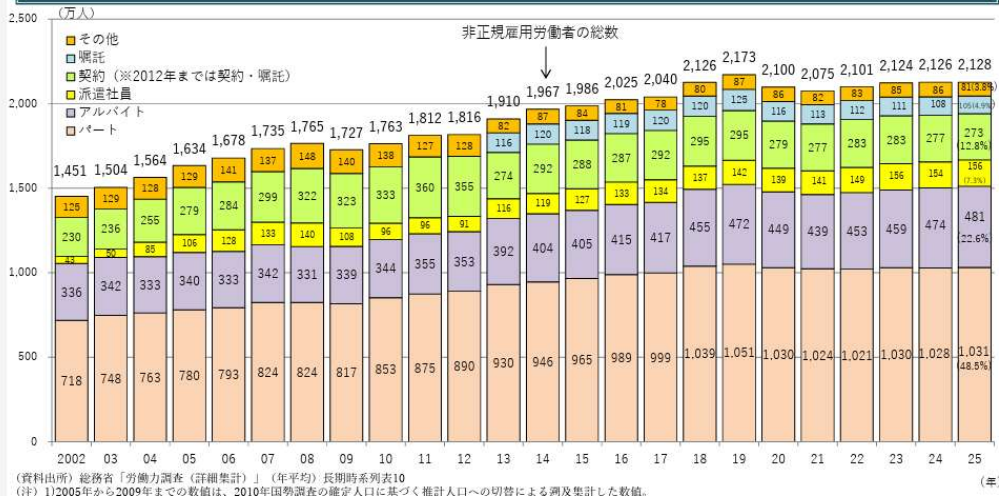
住居費支払い後の家計	40代		50代		60代前半		65歳以上	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
どちらかというと余裕・余裕がある	430	37.5%	156	33.6%	33	35.5%	71	44.4%
あまり・全く余裕がない	718	62.5%	308	66.4%	60	64.5%	89	55.6%
合計	1148	100.0%	464	100.0%	93	100.0%	160	100.0%

住居費支払後の家計に無回答12人を除く1865人

不動産情報サービスのアットホーム（東京・大田）が27日発表した4月の東京23区の賃貸マンションの平均募集家賃は、単身向け（専有面積30平方メートル以下）が前月比0.6%高の11万2585円だった。調査を始めた2015年1月以降の最高値を23カ月連続で更新した。前年同月比で12.6%上昇した。家賃は管理費や共益費などを含む。

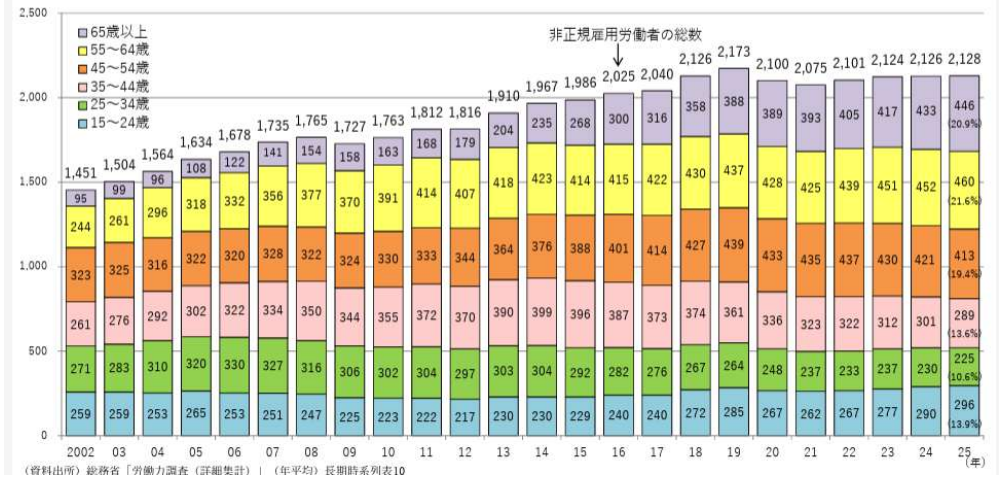
【非正規雇用労働者の推移（雇用形態別）】

○ 雇用形態別にみると、近年、パート、アルバイトが増加しています。



【非正規雇用労働者の推移（年齢階級別）】

○ 近年、非正規雇用労働者に占める65歳以上の割合が高まっています。



働いても非正規が多い（就職氷河期、結婚して退職して子育て後に復職しても非正規パート
結婚しなくてもある程度の年齢になると退職を促されその後は非正規、定年後に働くのは
非正規しかない。どの年代も働いても特に女性は非正規に落とし込まれてきた）

クロス集計 年齢と就業形態

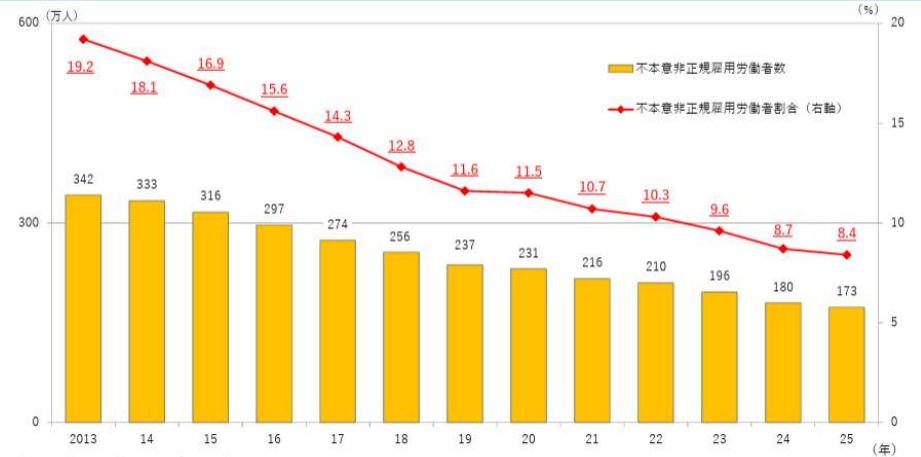
就業形態	40代		50代		60代前半		65歳以上		合計
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	
正規職員	650	51.1%	211	42.7%	21	23.6%	7	6.2%	889
非正規職員	461	36.3%	207	41.9%	39	43.8%	61	54.0%	768
自営業者・フリーランス	148	11.6%	67	13.6%	29	32.6%	36	31.9%	280
会社などの役員・その他	12	0.9%	9	1.8%	0		9	8.0%	30
合計	1271	100.0%	494	100.0%	89	100.0%	113	100.0%	1967

働いている人1984人のうち、就業形態の有無に無回答17人を除く1967人の集計

- ・年齢が上がるとともに、正規職員が減り、非正規職員が増加。
- ・60代前半は自営・フリーランスが32.6%。

【不本意非正規雇用の状況】

○ 正社員として働く機会がなく、非正規雇用で働いている者（不本意非正規雇用）の割合は、非正規雇用労働者全体の8.4%（2025年平均）となっています。



④非正規職員・自営業・フリーランスの就業形態を選んだ理由

今の就業形態を選んだ理由	度数	%
正規職員の仕事に就けなかったから	440	42.0%
自分の都合の良い時間・スタイルで働きたいから	352	33.6%
自分の専門・能力を活かせるから	342	32.6%
年齢を考えるとこの就業形態しかないから	284	27.1%
自分の健康状態を考えて	266	25.4%
通勤時間や労働時間が短いから	191	18.2%
子育て・介護など家庭の事情と両立しやすいから	188	17.9%
組織に縛られたくないから	125	11.9%
その他	121	11.5%
貯金が底をつきそうだから	54	5.2%
仕事が簡単だから	47	4.5%
無回答	36	3.4%

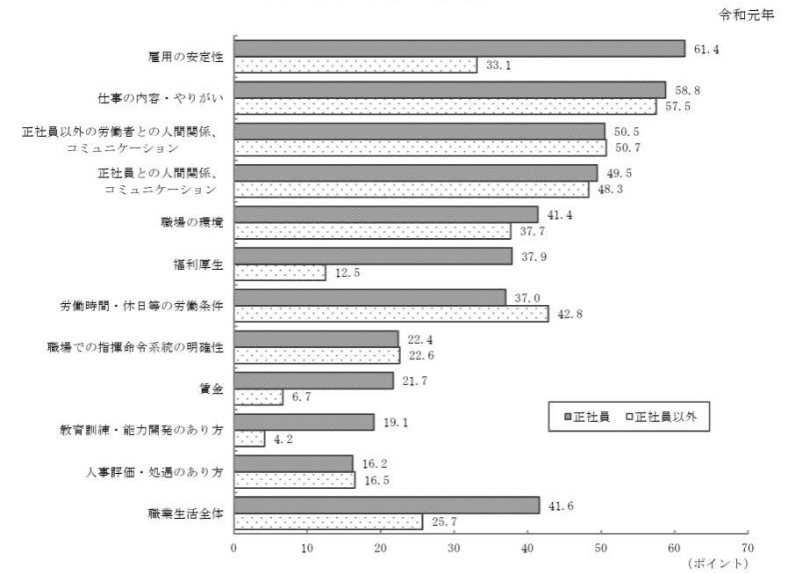
%の分母 非正規職員+フリーランス=1048人

不本意就労	A・Bの両方選択	一方を選択	合計	現在の雇用形態(A)
正規職員の仕事に就けなかったから(A)	162	278	440	非正規職員395人、 自営業 45人
年齢を考えるとこの就業形態しかないから(B)	162	122	284	

非正規職員・フリーランス、1048人のうち
(不本意就労・A・B 両方選択及び一方選択)・562人(53.6%)
非正規職員768人のうち不本意非正規職員・395人(51.4%)

令和元年 就業形態の多様化に関する実態調査

図9 現在の職場での満足度D. I.



「非正規雇用」の現状と課題

【賃金カーブ（時給ベース）】

○ 非正規雇用労働者は、正規雇用労働者に比べ、賃金が低いという課題があります。



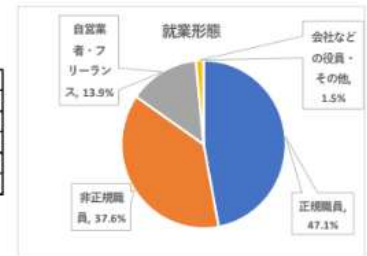
(資料出所) 厚生労働省「賃金構造基本統計調査」雇用形態別 第1表(一般労働者、短時間労働者)より雇用環境・均等局作成

③主たる生計維持者の収入と就業形態(クロス集計)

・・・2018人(86.1%)の人が自分で生計をたてている「主たる生計維持者」・・・

就業形態	度数	%
正規職員	812	47.1%
非正規職員	648	37.6%
自営業者・フリーランス	239	13.9%
会社などの役員・その他	26	1.5%
合計	1725	100.0%

就労中で就業形態に回答した主たる生計維持者1725人



収入	度数	%
～200万円未満	559	30.4%
200万円以上～300万円未満	438	23.8%
300万円以上～400万円未満	310	16.9%
400万円以上～500万円未満	184	10.0%
500万円以上	346	18.8%
合計	1837	100.0%

昨年収入があった主たる生計維持者1837人



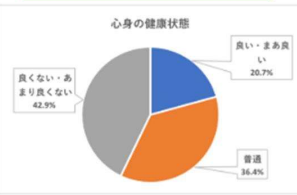
・主たる生計維持者でも半数が非正規・自営業・フリーランス。「300万未満」の年収の人は半数超。

お金がないと心身が傷む

② 今の心身健康状態

心身の健康状態	度数	%
良い	169	7.2%
まあ良い	316	13.5%
普通	854	36.4%
あまり良くない	771	32.9%
良くない	235	10.0%
合計	2345	100.0%

「良くない・あまり良くない」が42.9%



心身の健康状態	度数	%
良い・まあ良い	485	20.7%
普通	854	36.4%
良くない・あまり良くない	1006	42.9%
合計	2345	100.0%

クロス集計 年齢と心身健康状態 40代・50代の体調の良くない人・・・44%～47%弱

心身の健康状態	40代		50代		60代前半		65歳以上	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
良い・まあ良い	292	20.4%	109	19.0%	25	21.2%	59	26.9%
普通	509	35.5%	197	34.3%	51	43.2%	97	44.3%
良くない・あまり良くない	633	44.1%	268	46.7%	42	35.6%	63	28.8%
合計	1434	100.0%	574	100.0%	118	100.0%	219	100.0%

クロス集計 暮らしぶり心身健康状態 生活が苦しい人の半数は健康状態が良くない

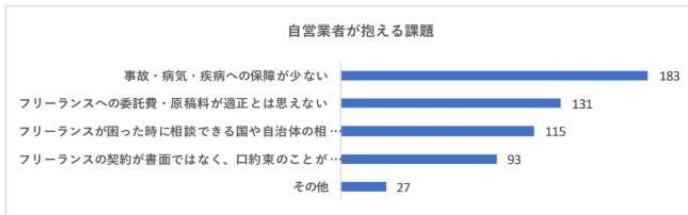
健康状態	暮らしぶり					
	やや・大変苦しい		普通		やや・大変ゆとりがある	
	度数	%	度数	%	度数	%
良い・まあ良い	250	15.5%	160	27.6%	75	50.0%
普通	547	33.9%	260	44.8%	47	31.3%
良くない・あまり良くない	818	50.7%	160	27.6%	28	18.7%
合計	1615	100.0%	580	100.0%	150	100.0%

② 自営業・フリーランスが抱える課題

「事故・病気等の保障が少ない」が65.4%
「委託料問題、相談機関が少ない」指摘も

自営業・フリーランスが抱える課題	度数	%
事故・病気・疾病への保障が少ない	183	65.4%
フリーランスへの委託費・原稿料が適正とは思えない	131	46.8%
フリーランスが困った時に相談できる国や自治体の相談機関がない	115	41.1%
フリーランスの契約が書面ではなく、口約束のことが多い	93	33.2%
その他	27	9.6%

n = 自営業・フリーランス280人 複数回答



③ 当事者が思う女性就労の問題

・ 女性が働く上での困難 ・ 年齢、正規・非正規間での待遇差、男女の賃金格差 ・

女性就労の課題	度数	%
女性は年齢が高くなるにつれ、正規職員採用が減ってくる	1566	66.8%
正規・非正規職員間の待遇の差	1552	66.2%
男女の賃金格差	1535	65.5%
非正規職員やフリーランスは賃金が低くていいと思われている	1403	59.8%
働くことが将来の希望につながらない	1222	52.1%
子育て中のひとり親が、仕事と子育てを両立させるのは、難しい	1214	51.8%
専門性や資格、経験を評価してもらえない	862	36.8%
短期間の契約更新に心身が消耗、雇用継続に不安	785	33.5%
女性支援・キャリア支援が子育て中の女性に重きをおいている	765	32.6%
その他	145	6.2%
無回答	38	1.6%

n = 2345 複数回答

① 当事者が抱く将来の不安

病気・介護、仕事の継続、年金、社会保険料負担、保証人など、不安は多岐

将来不安	度数	%
自分の病気や介護が必要になった場合に、制度を利用できるのか	1740	74.2%
仕事の継続、生活できる賃金を得ること	1665	71.0%
低年金と十分な貯蓄ができないことによる高齢期の生活不安	1620	69.1%
医療・介護保険の保険料・サービスの自己負担増	1517	64.7%
親の病気や介護が必要になった時の対処	1338	57.1%
身元引受人・保証人がいない場合、入院や介護施設入所が難しくなること	1252	53.4%
相談相手や頼れる人が少なくなり、孤立してしまう	1011	43.1%
公営住宅応募対象外・民間住宅の高家賃などによる高齢期の住宅の不安	836	35.7%
子どもの自立の問題	353	15.1%
自身の奨学金や子どもの教育費等の借金の返済のこと	270	11.5%
その他	137	5.8%
無回答	26	1.1%

n = 2345 複数回答

④いつまで働くか？

全体		
いつまで働くか	度数	%
60歳まで	54	2.7%
65歳まで	237	11.9%
70歳まで	226	11.4%
75歳まで	95	4.8%
80歳まで	15	0.8%
働ける限りはいつまでも	907	45.7%
生きている限り、死ぬまで	395	19.9%
その他	33	1.7%
無回答	22	1.1%
合計	1984	100.0%

働いている人1984人

「働ける限りはいつまでも」
 「生きている限り、死ぬまで」
 全体 (65.6%)、正規職員 (52.9%)
 非正規職員 (78.9%)、自営業 (77.7%)

クロス集計 雇用形態といつまで働くか

いつまで働くか	正規職員		非正規職員		自営業者・フリーランス		会社などの役員・その他	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
60歳まで	34	3.8%	10	1.3%	8	2.9%	2	6.7%
65歳まで	189	21.4%	36	4.7%	7	2.5%	3	10.0%
70歳まで	139	15.7%	61	8.0%	23	8.2%	2	6.7%
75歳まで	39	4.4%	42	5.5%	12	4.3%	1	3.3%
80歳まで	3	0.3%	3	0.4%	4	1.4%	3	10.0%
働ける限りはいつまでも	354	40.0%	403	53.0%	136	48.7%	12	40.0%
生きている限り、死ぬまで	114	12.9%	197	25.9%	81	29.0%	3	10.0%
その他	12	1.4%	9	1.2%	8	2.9%	4	13.3%
合計	884	100.0%	761	100.0%	279	100.0%	30	100.0%

働いている人1984人から就業形態無回答、いつまで働くか無回答除く1954人